

# 令和3年度 企業向け ごみ減量実践講座

京都商工会議所と協力して開催している「エコロジーはエコノミー ごみ減量実践講座」。この講座は、企業のごみ減量や環境対策を主なテーマに多彩な顔ぶれの講師をお招きし、廃棄物に関連する最新情報や取組事例、廃棄物処理現場の見学会等を開催しています。是非、ご参加ください！

- 主催：京都市ごみ減量推進会議（公益財団法人京都市環境保全活動推進協会）  
京都商工会議所
- 後援：公益社団法人 京都工業会 ・ 京都府中小企業団体中央会  
NPO 法人 KES 環境機構 ・ 一般社団法人 京都府産業廃棄物 3R 支援センター

●申込時に、ご質問や期待する内容をご記入ください。  
●企業・事業者を対象としますが、一般・学生の方も参加いただけます。

第1回  
会場+  
オンライン

## 令和3年11月19日（金） 「せっかくやるなら ESG 投資につながる SDGs 経営に」

「事業内容や社員向けの取組でかぶるところがあったので、自社のウェブサイトには SDGs のマークを追加しました！」、「SDGs に取り組むことで会社の売上が良くなるの？」言葉の認知は浸透してきた SDGs ですが、“今やっていること”に留まらない『世界共通のルール』といえるもの。せっかくやるなら、SDGs の目標達成とともに、会社の価値を上げていきましょう。そのためには、会社の経営課題を社会課題の解決に沿わせて、透明な形で説明できることが求められます。ESG 投融資を近づけるも遠ざけるも企業経営。事業を通じて SDGs に貢献するチャンスを逃さず、世界の一員として 2030 年を迎えましょう！

日時：令和3年11月19日（金） 午後2時30分～4時30分

会場：京都経済センター 3階 3-F会議室

オンライン会場：Zoom ミーティング \*お申込者に、別途ご案内します。

参加費：無料（ごみ減会員・非会員共に）

定員：会場 40名 ・ オンライン 60名（ごみ減会員優先・先着順）

講師：麻埜 豊彦氏 株式会社環境ビジネスエージェンシー シニアコンサルタント、KES 主幹審査員  
(登壇順) 松本 直人氏 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長

石川 武氏 三共精機株式会社 代表取締役会長

経営課題にコミットするとは？  
投資会社は、企業の ESG 取組の何を求めているの？



## 参加申込書

以下の内容について、FAX 又はメールにてお知らせください（先着順） FAX 075-641-2971

参加希望日 (希望日に <input checked="" type="checkbox"/> )	<input type="checkbox"/> 第1回 11月19日 SDGs 経営 (会場)	<input type="checkbox"/> 第2回 12月7日 プラ資源循環
	<input type="checkbox"/> 第1回 11月19日 同 (オンライン)	<input type="checkbox"/> 第3回 2月18日 おむつ to〇〇〇
企業名・団体名	<input type="checkbox"/> ごみ減会員、 <input type="checkbox"/> 非会員	
団体・事業所電話		
参加者 お名前		
参加者 電話番号	電子メールでの講座等案内配信を希望	
電子メール又は FAX	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> 登録済	

\*いただいた情報は、お申し込みの講座にかかる案内及び、希望されるメール案内でのみ使用します。

●web 申込フォームもご利用ください。 <https://kyoto-gomigen.jp/works/283.html>

第2回  
オンライン

令和3年12月7日(火)

「どう使う？ 廃プラスチック ～よりよい資源循環促進のために～」

事業でも生活でも無くてはならないプラスチック。これまでのリサイクルは多くが海外依存で成り立っていましたが、これからは海外に依存せずどう使うかが大切です。より良い資源循環にするために、どういうリサイクルが選択できるようになってきたのか、そのためにどのように排出すべきなのか、また、リサイクルされた材をどう利用していくのか。「プラスチック資源循環法」と、その施行に合わせて立ち上がるプラスチックリサイクル工場の新技術の解説を踏まえて、より環境への負荷を抑えるプラスチックの利用方法や考え方のヒントをお話いただけます。申込時に、質問又は期待している内容をご記入ください。

\* 後日、期間限定配信を予定しております。ごみ減メール（講座等案内配信）にてお知らせしますので、メール登録をご希望ください。

日 時： 令和3年12月7日(火) 午後3時～5時30分

開催会場： Zoom ミーティング \*お申込者に、別途ご案内します。

参加費： 無料（ごみ減会員・非会員共に）

定 員： 100名（先着順）

講 師： 堀口昌澄氏 ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 環境ソリューション事業本部，CEストラテジスト

第3回  
会場

令和4年2月18日(金)

「おむつ to OOO ～安心して紙おむつが使える未来へ～」

紙おむつの国内処理量は約200万トンと推計されており、そのほとんどが、水分等が含まれたまま焼却処理されています。この先、紙おむつのお世話になる人が増える一方、介助やごみ収集を担う若年層は減り、問題の深刻化が懸念される中、令和2年3月末「使用済紙おむつの再生利用等に関するガイドライン」（環境省）が策定されました。

すでに国内で始まっているさまざまなおむつリサイクルの取組紹介と、おむつからおむつに水平リサイクルされている取組事例・関連技術等についてお話いただけます。若い人たちもぜひ、ご参加ください。私たちの未来について考えていきましょう。

日 時： 令和4年2月18日(金) 午後2時30分～4時30分

会 場： 京都経済センター 3階 3-F会議室

参加費： 無料（ごみ減会員・非会員共に）

定 員： 40名（ごみ減会員優先・先着順）

講 師： 前田理沙氏 環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室

（登壇順）

和田充弘氏 ユニ・チャーム株式会社 ESG 本部 Recycle 事業推進室 Manager

リサイクルおむつ  
に実際に触れてい  
ただけます。

\* 感染症対応等にかかるお願い

会場では定員を絞って開催いたしますが、ご来場の際は、外出前の検温、会場に入られる前の消毒（手洗い）、マスク着用などご対応のうえご参加ください。なお、当日、体調がすぐれない場合は、参加の取りやめやオンラインへの切り替えについてご連絡ください。また、今後の状況により、事業を中止又は延期することがあります。

【お申込み・お問合せ先】 京都市ごみ減量推進会議（公益財団法人京都市環境保全活動推進協会）

TEL 075-647-3444 FAX 075-641-2971

E-MAIL [sanka@kyoto-gomigen.jp](mailto:sanka@kyoto-gomigen.jp) HP <http://kyoto-gomigen.jp>